

# 国連コンゴ民主共和国安定化ミッション

## United Nations Organization Stabilization Mission in the Democratic Republic of the Congo (MONUSCO)

### 《 概 要 》

2019年10月

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1 設立年月              | 2010年7月   |
| 2 設立決議              | 安保理決議第1925号(2010年)  |
| 3 展開場所              | コンゴ民主共和国及び周辺地域  |
| 4 本部所在地             | キンシャサ(首都)<br>(プレトリア(南ア), カンパラ(ウガンダ), キガリ(ルワンダ)に連絡事務所, エンテベ(ウガンダ)に兵站基地が所在) |
| 5 事務総長特別代表<br>軍事司令官 | レイラ・ゼルギ(アルジェリア)<br>エリアス・ロドリゲス・マルティンス・フィーリョ中將(ブラジル)                        |
| 警察部門長官              | アワレ・アブドゥナシー(ジブチ)  |
| 6 活動期限              | 2019年12月20日(安保理決議第2463号(2019年))   |
| 7 予算                | 約10億2,327万ドル(2019年7月～2020年6月)   |
| 8 経緯                |   |



- (1) 1997年5月、ルワンダやウガンダなどの支援を受けたローラン・デジレ・カビラ議長率いる反政府勢力が首都キンシャサを制圧し、同議長が大統領に就任。国名をザイルからコンゴ民主共和国(以下、コンゴ(民))へ改称。
  - (2) 1998年8月、コンゴ(民)東部地域において、ローラン・デジレ・カビラ政権に不満を持つ反政府勢力がルワンダやウガンダの支援を得て武装蜂起。また周辺諸国がカビラ政権支援のために介入したことにより国際紛争へ発展。
  - (3) 1999年7月のルサカ停戦合意(コンゴ(民), アンゴラ, ナミビア, ルワンダ, ウガンダ及びジンバブエが署名)を受け、同年11月、安保理は決議第1279号を採択し、停戦や兵力引き離しの監視、同停戦合意署名国間の連絡・調整等を任務とする国連コンゴ民主共和国ミッション(MONUC)を設立。
  - (4) コンゴ(民)政府は、2006年7月に国民議会選挙、2010年10月に大統領選挙を実施。一連の流れを受け、2010年5月、安保理は決議第1925号を採択し、7月1日よりMONUCを国連コンゴ民主共和国安定化ミッション(MONUSCO)に名称変更し、文民保護及び同国の能力向上に任務の重点を移すことを決定。
  - (5) 紛争の度重なる再発や人道危機、人権侵害等に見られるコンゴ(民)東部地域の情勢不安の中、2013年2月、アディスアベバにおいて周辺11か国地域の代表等関係者間で署名された「コンゴ(民)及び地域のための平和・安全・協力枠組み」を受け、大湖地域諸国の政府からの要請に応える形で、同年3月に安保理は決議第2098号を採択。同決議において、前例とはならない例外的措置として、武装勢力の無力化の責任を負う「介入旅団」の導入が決定された。
  - (6) 2017年12月7日、コンゴ(民)北キブ州で、反政府武装勢力 ADF (Alliance of Democratic Forces) によりMONUSCOの部隊が攻撃され、国連発表によればタンザニア要員15名が死亡、また43名が負傷、1名が行方不明。
- 9 目的と任務(決議第2463号)
- (1) 目的
  - ア 文民の保護

